

経営比較分析表（令和6年度決算）

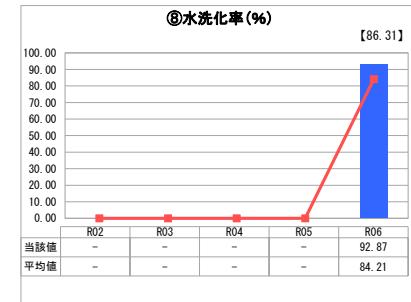
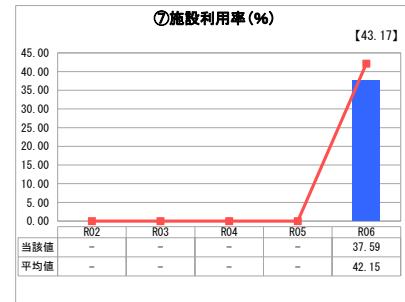
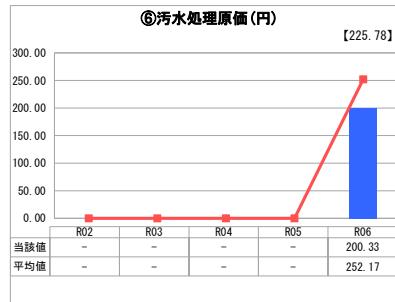
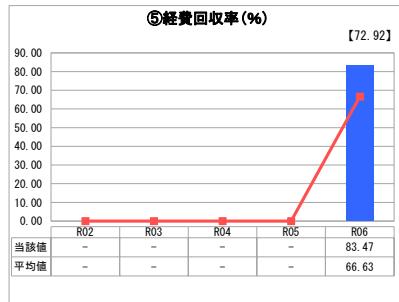
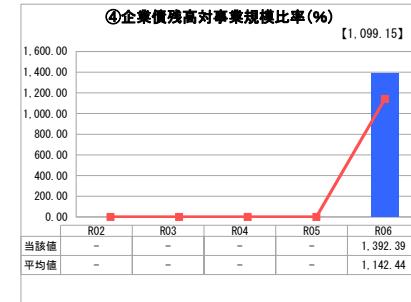
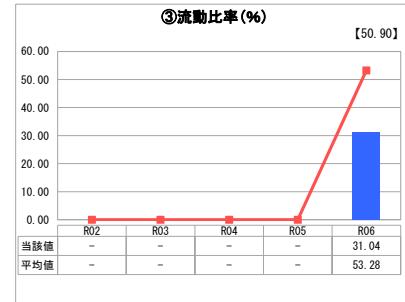
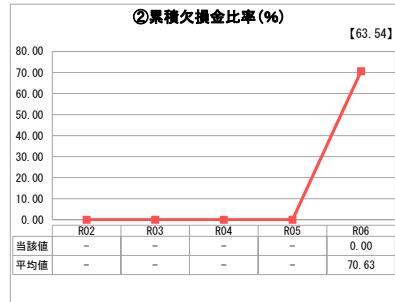
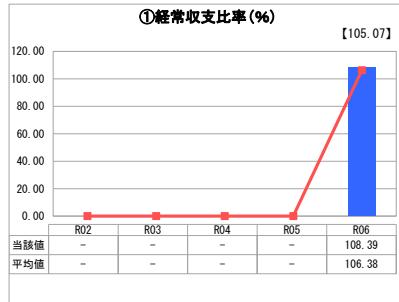
群馬県 塙村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	79.92	37.32	99.96	4,403

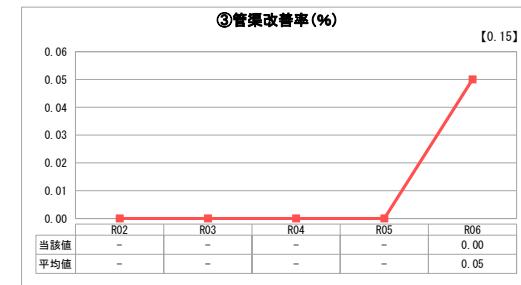
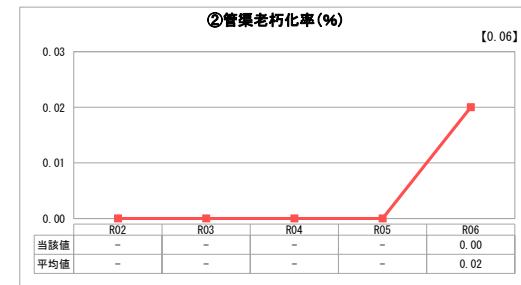
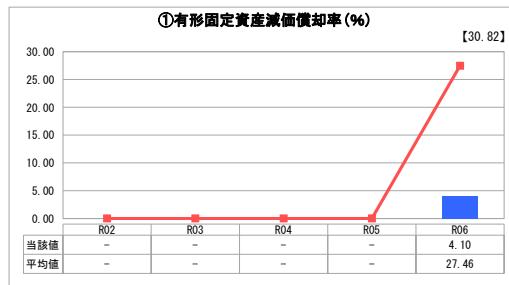
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
9,073	337.58	26.88
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,396	1.94	1,750.52

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該団体）
— 類似団体平均値（平均値）
【】令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①一般会計繰入に依存、料金改定が急務。
 - ③一般会計繰入に依存、料金改定が急務。
 - ④類似団体よりは低いが、料金改定が急務。
 - ⑤依然として一般会計繰入に依存、料金改定が急務。
 - ⑥今後原価の上昇が予想される。このため接続率の向上により有収水量の増加を図り、維持管理費削減に努める必要がある。
 - ⑦類似団体と比較し低い水準となったが、処理水量は人口漏と共に減少すると思われる。
 - ⑧類似団体と比較し高い水準を維持している。
- (2) 現状と課題
収入で費用を賄えておらず、今後人口減少により料金収入の減少が予想される。維持管理経費の削減に努めるとともに、料金改定が急務。

2. 老朽化の状況について

- (1) 各指標の分析
③管渠改善率について、年間500m程度管渠点検を実施し、破損箇所の修繕を実施している、大規模な修繕は確認されていないため、管渠の更新にはいたっていない。
- (2) 現状と課題
供用開始から30年が経過し処理施設や当初布設された管渠の経年劣化が進み始めている。
不具合箇所は随時修繕を実施しているが、全体的に経年劣化が進行しているため、ストックマネジメント計画を策定し、計画的な処理施設の更新を計画している。

全体総括

費用が収入を上回っている状態であるが、今後も人口の推移からすると料金収入は右肩下がりになると想われる。より一層の経費削減に努める必要があるが、処理施設の経年劣化が進んでおり、大規模な修繕や改修工事の必要性が高まっている。
施設の老朽化対策として、ストックマネジメント計画を策定し補助事業を活用した修繕や改修工事を進めいく予定。
また、異なる接続率や料金徴収率の向上に努めると共に、下水道料金の見直しの必要性もある。
早期に経営戦略を改定し、基盤強化を図る。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみの類似団体平均値及び全国平均を算出しています。